

3月1日時点の就職意識調査

2016年卒者の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートした。解禁直後の日経就職ナビ・学生モニターの就職活動状況や意識について調査を行った。

1. エントリー状況

○一人あたりのエントリー社数の平均は23.4社。今後の予定社数の平均は25.7社

2. セミナー・会社説明会への参加状況

○一人あたりの平均参加社数は14.6社。うち合同セミナーでの参加が7.4社

3. 選考試験への参加状況

○エントリーシート提出者は32.4%。筆記試験受験者31.3%、面接試験受験者23.8%

4. 3月1日現在の内定状況

○内定率は3.8%。2月(2.2%)より1.6ポイント増。「調査・コンサルタント」が最多

5. 現時点での志望業界

○志望業界1位「水産・食品」、2位「銀行」、3位「医薬品・医療関連・化粧品」

6. 就職活動の中心としている企業の規模

○「業界トップ/大手企業」志向が過半数(50.9%)。前年より増加

7. オンラインセミナーの視聴状況

○視聴経験者は27.8%。視聴社数は、ライブ中継2.3社、録画1.3社

8. 就職活動で困っていること

○「エントリーシート」61.8%、「志望先の選定(企業選び)」61.0%の順

9. 理系学生の就職意識

○「自由応募のみで活動」が54.8%で引き続き過半数。「推薦のみで活動」は1.0%

10. 今後の就職活動の方針

○「気になる企業にはとりあえずエントリーする」86.7%

11. 就職活動に臨む心境

○「楽しみたい」74.8%、「早く終えたい」63.7%、「内定取れる自信ある」52.7%

《調査概要》

調査対象：2016年3月卒業予定の全国の大学3年生(理系は大学院修士課程1年生含む)
 回答数：1,429人(文系男子443人、文系女子382人、理系男子410人、理系女子194人)
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2015年3月1日~5日
 サンプルング：日経就職ナビ2016就職活動モニター

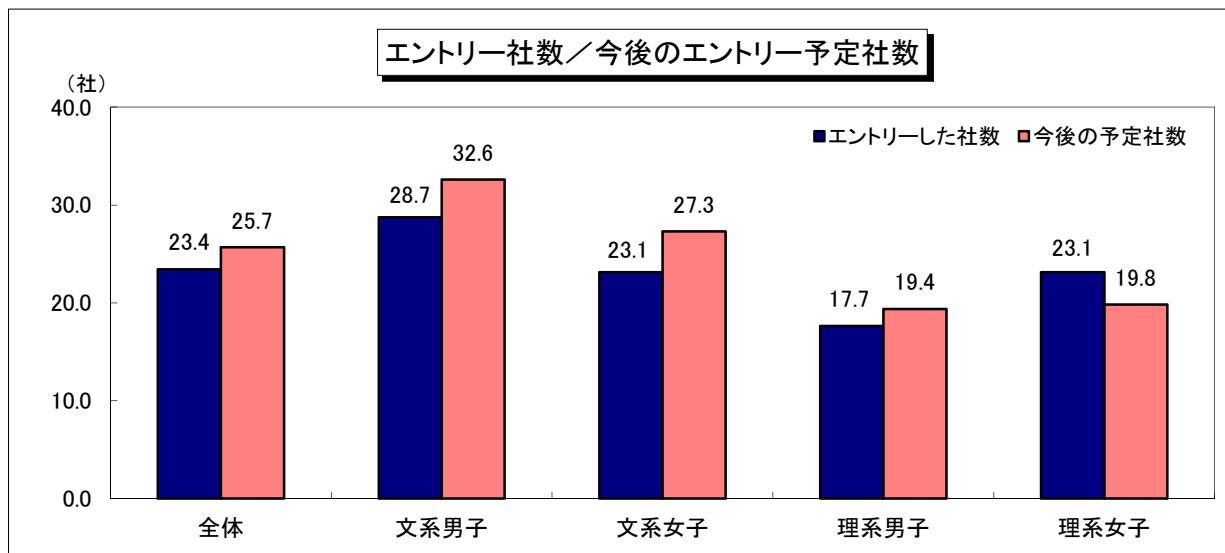
◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505/株式会社ディスコ キャリアリサーチ

「日経就職ナビ 就職活動モニター調査」は、株式会社日経HRと株式会社ディスコが大学生の就職活動状況を調査することを目的として実施しています。日経就職ナビは日本経済新聞社が主管し、株式会社日経HRが企画・管理を担当し、株式会社ディスコが運営事務局を務めています。

1. エントリー状況

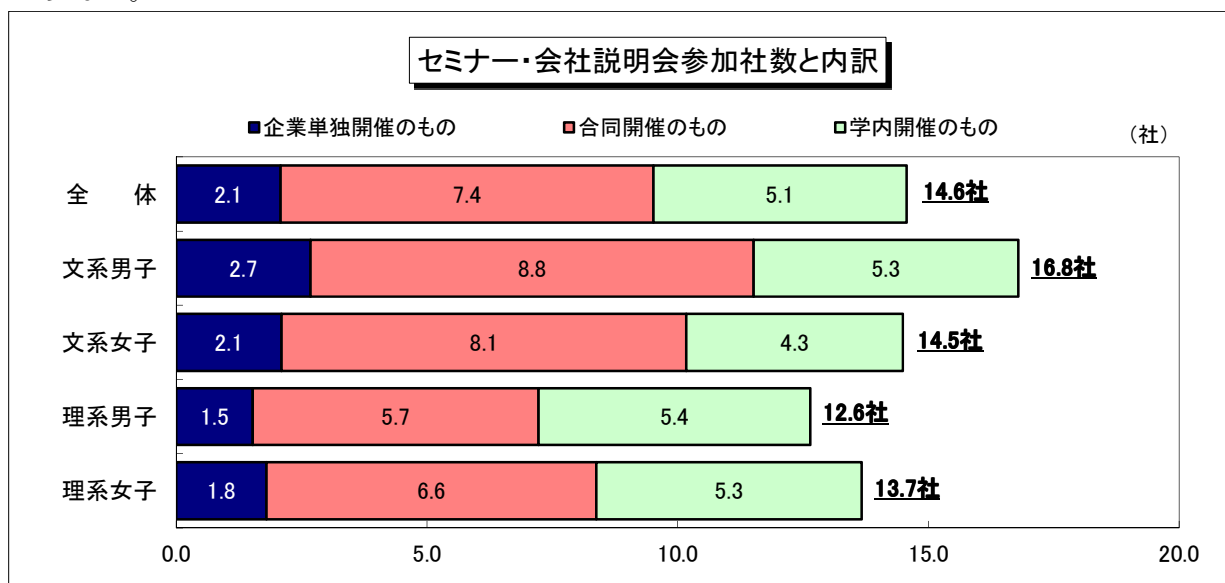
2016年卒者の就職活動が、例年より3カ月遅れてスタートした。まず全体的な活動量を確認しよう。

一人あたりのエントリー社数の平均は23.4社。今後のエントリー予定社数の平均は25.7社で、両者を足し合わせると49.1社となる。前年度モニターの最終的なエントリー社数は89.6社だったので(7月調査)、今回の数字よりも実際はもっと増えていくと予想される。



2. セミナー・会社説明会への参加状況

セミナー・会社説明会の平均参加社数は 14.6 社。開催形式ごとに見ると、合同開催のものが 7.4 社で半数強を占め、就職活動開始当初は、合同セミナーを中心に活動する学生が多いことがうかがえる。合同セミナーへの来場回数の平均は 1.9 回だった。一方、企業単独開催は 2.1 社とまだ少ない。



合同開催・学内開催参加回数

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
合同開催セミナーへの来場	1.9	2.4	2.1	1.5	1.5
学内開催セミナーへの来場	1.8	2.0	1.6	1.7	1.8

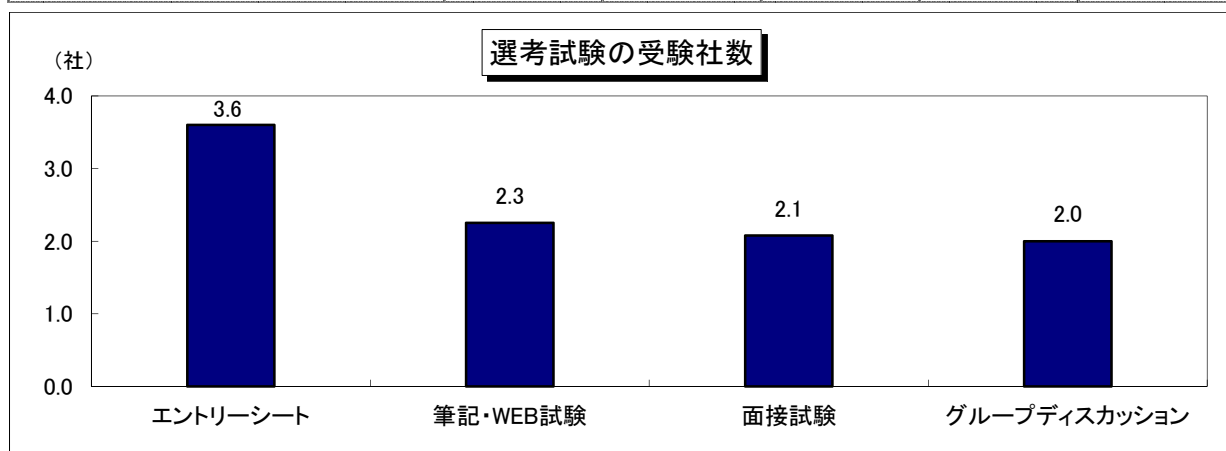
3. 選考試験への参加状況

企業にエントリーシートを提出した学生は全体で 32.4%。3 人に 1 人は、すでに提出経験をもつ。提出社数の平均は 3.6 社で、前年度の 1 月調査 (=解禁 1 カ月後) の平均 (3.5 社) をすでに上回っている。筆記・WEB 試験を受験した学生は 31.3%、面接試験受験者は 23.8% など、一定数の学生が、2 月以前も含め動きの早い企業の選考を率先して受けている様子が見られる。

選考試験の受験状況

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
エントリーシートを提出した	32.4	32.5	33.5	27.8	39.7
筆記・WEB 試験を受験した	31.3	31.8	32.2	28.8	33.5
面接試験を受験した	23.8	26.2	27.0	18.5	23.2
グループディスカッションを受験した	14.7	17.4	14.7	10.7	17.0

(%)



4. 3月1日現在の内定状況

調査時点ですでに内定を手に入れているという学生は全体の 3.8%。2 月調査 (2.2%) から 1.6 ポイント上昇した。内定社数の平均は 1.2 社。少ないサンプルではあるが、内定を得た業界は「調査・コンサルタント」「情報・インターネットサービス」「情報処理・ソフトウェア」に集中しており、IT 業界や外資系コンサルティングファームが早くから動いているようだ。就職戦線はまだ始まったばかりではあるが、内定取得者の 2 割 (20.4%) は就職活動を終了したと回答している。

3月1日現在の内定状況

*「内定」には、内々定を含む

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	
内定あり	3.8	4.1	2.1	4.9	4.1	
内定なし	96.2	95.9	97.9	95.1	95.9	
内定社数 (平均/社)	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	
内定者のうち	就職先を決定し活動終了	20.4	11.1	25.0	25.0	25.0
	終了したが複数内定保持	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	進学などの理由で活動を中止	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	就職活動継続	79.6	88.9	75.0	75.0	75.0

(%)

5. 現時点での志望業界

3 月 1 日の時点で志望業界を「決めている」学生は 93.8%で、9 割以上が解禁時点で志望業界を決めていたことがわかった。

「決めている」と回答した人に具体的な志望業界を 40 業界の中から 5 つまで選んでもらったところ、「水産・食品」が 21.6%で最も多く、以下「銀行」20.2%、「医薬品・医療関連・化粧品」18.3%と続く。上位 3 業界の顔ぶれは 1 月調査・2 月調査時と同様で、変動は見られない。ただ、志望業界は、セミナーや説明会への参加や OB・OG 訪問など、活動が進んでいく中で徐々に変化していくのが毎年の傾向であるので、今後の推移にも注目していきたい。

3月時点での志望業界の決定状況

(%)

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
決めている	93.8	92.1	92.1	95.9	96.9
決めていない	6.2	7.9	7.9	4.1	3.1

3月時点での志望業界 (上位 20 業界)

※5つまで選択 (%)

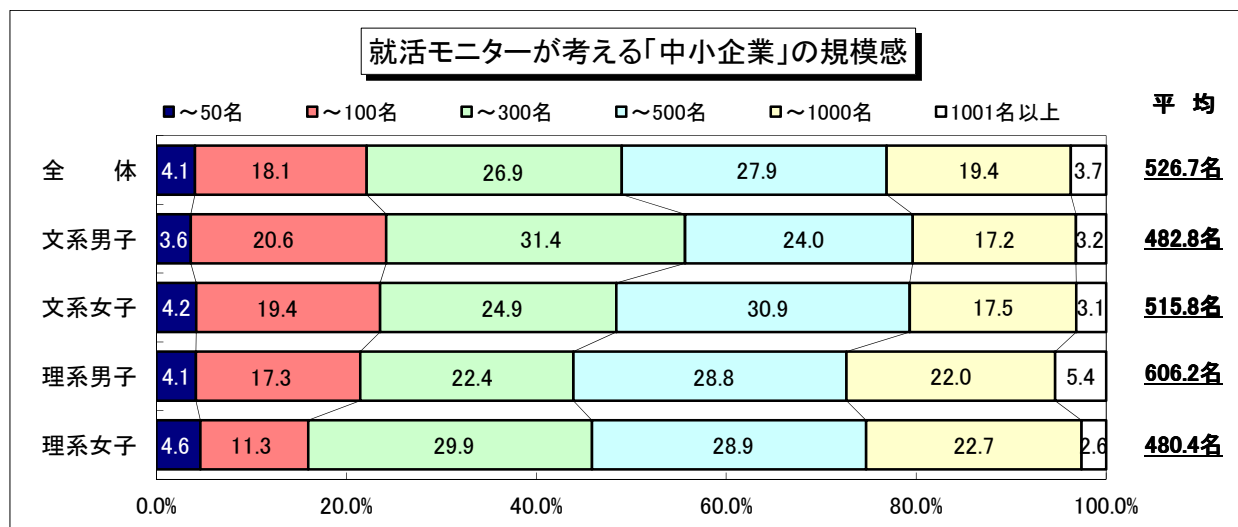
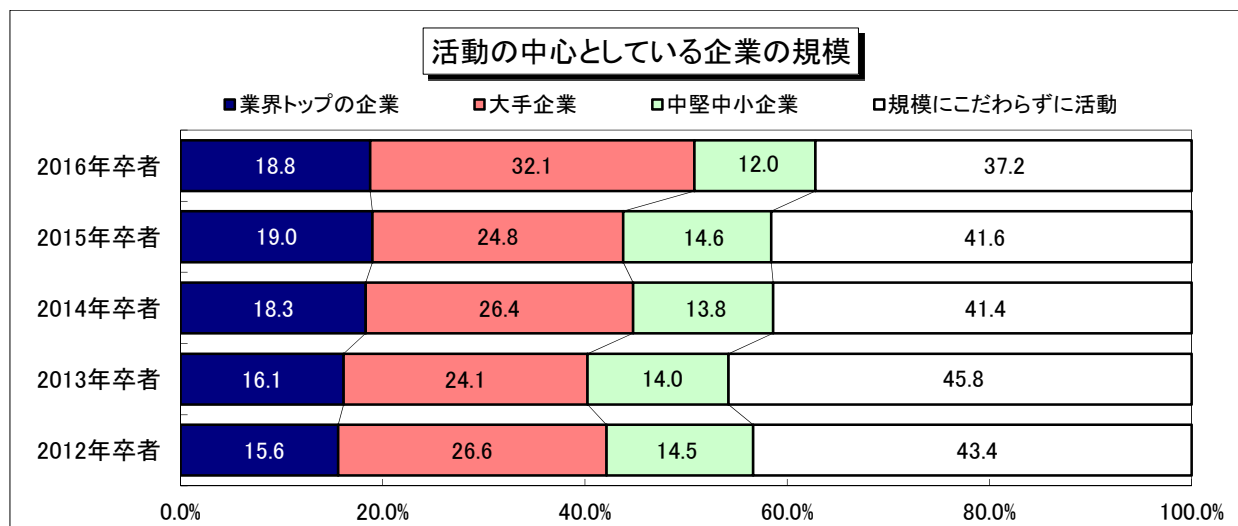
	全 体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
1 水産・食品 ②	21.6	銀行 33.8	マスコミ 24.7	電子・電機 28.0	水産・食品 44.7
2 銀行 ①	20.2	商社 (総合) 21.1	銀行 24.1	素材・化学 24.9	医薬品・医療関連・化粧品 42.0
3 医薬品・医療関連・化粧品 ③	18.3	建設・住宅・不動産 16.4	水産・食品 19.6	機械・プラントエンジニアリング 24.2	素材・化学 31.4
4 素材・化学 ④	17.9	エネルギー 15.9	商社 (総合) 17.0	自動車・輸送用機器 23.4	官公庁・団体 20.7
5 官公庁・団体 ④	15.2	運輸・倉庫 15.9	官公庁・団体 16.5	医薬品・医療関連・化粧品 22.1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 16.5
6 電子・電機 ⑦	15.1	保険 15.9	商社 (専門) 15.1	水産・食品 20.6	精密機器・医療用機器 14.4
7 マスコミ ⑧	14.1	調査・コンサルタント 15.7	運輸・倉庫 14.2	精密機器・医療用機器 19.3	情報・インターネットサービス 13.8
8 商社 (総合) ⑥	14.0	商社 (専門) 15.2	ホテル・旅行 12.8	エネルギー 17.8	建設・住宅・不動産 12.2
9 建設・住宅・不動産 ⑨	13.8	官公庁・団体 15.0	医薬品・医療関連・化粧品 12.8	情報・インターネットサービス 17.3	マスコミ 10.6
10 情報・インターネットサービス	13.3	マスコミ 14.5	建設・住宅・不動産 12.5	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 16.8	電子・電機 10.6
11 情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	13.0	水産・食品 13.5	保険 12.2	建設・住宅・不動産 13.0	調査・コンサルタント 10.1
12 エネルギー ⑩	12.8	素材・化学 11.5	印刷・パッケージ 11.4	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 12.7	農業・林業・鉱業 10.1
13 調査・コンサルタント	12.2	情報・インターネットサービス 11.5	信用金庫・労働金庫・信用組合 11.4	通信関連 12.5	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 9.6
14 運輸・倉庫 ⑩	12.1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 11.3	情報・インターネットサービス 10.8	官公庁・団体 11.7	エネルギー 8.5
15 自動車・輸送用機器	12.0	電子・電機 10.8	調査・コンサルタント 10.8	調査・コンサルタント 10.9	印刷・パッケージ 8.5
16 機械・プラントエンジニアリング	11.9	信用金庫・労働金庫・信用組合 10.3	素材・化学 10.2	運輸・倉庫 10.4	OA機器・家具・スポーツ・玩具他 8.0
17 商社 (専門)	10.8	自動車・輸送用機器 9.6	エンターテインメント 9.1	鉄鋼・非鉄・金属製品 9.4	商社 (専門) 8.0
18 精密機器・医療用機器	10.3	機械・プラントエンジニアリング 8.6	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 8.8	銀行 8.7	銀行 7.4
19 保険	9.8	医薬品・医療関連・化粧品 8.3	その他サービス 8.5	商社 (総合) 7.4	商社 (総合) 6.9
20 通信関連	7.9	証券・投信・投資顧問 8.3	電子・電機 8.2	OA機器・家具・スポーツ・玩具他 6.1	機械・プラントエンジニアリング 6.4
					通信関連 6.4

※○の中の数字は2015年2月同調査の全体順位10位以内

6. 就職活動の中心としている企業の規模

新卒採用市場の回復に伴い、学生の大手志向は強まっているようだ。就職活動の中心としている企業規模を尋ねたところ、「業界トップの企業」18.8%、「大手企業」32.1%で、いわゆる「大手ねらい」の学生の合計は50.9%と過半数にのぼった。前年調査では「大手企業」は24.8%で、7.3ポイント増加した。大手企業にこだわる層が増えた分、「中堅中小企業を中心」と「規模にこだわらずに活動」がそれぞれポイントを下げた。

ただ、学生の「中堅中小」の範囲の捉え方については注意が必要だ。「従業員数が何名くらいまでは中小企業だと思うか」と尋ねたところ、平均すると「526.7名」となり、国の定める中小企業の範囲(※下表)よりもかなりズレがあることが分かる。分布を出してみると、最も回答が多いのが「～500名」(27.9%)で、「～1000名」19.4%、「1001名以上」3.7%とあわせると51.0%となり、過半数が誤解をしている可能性がある。特に理系男子が、中小企業と見做す範囲が最も大きかった。



業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

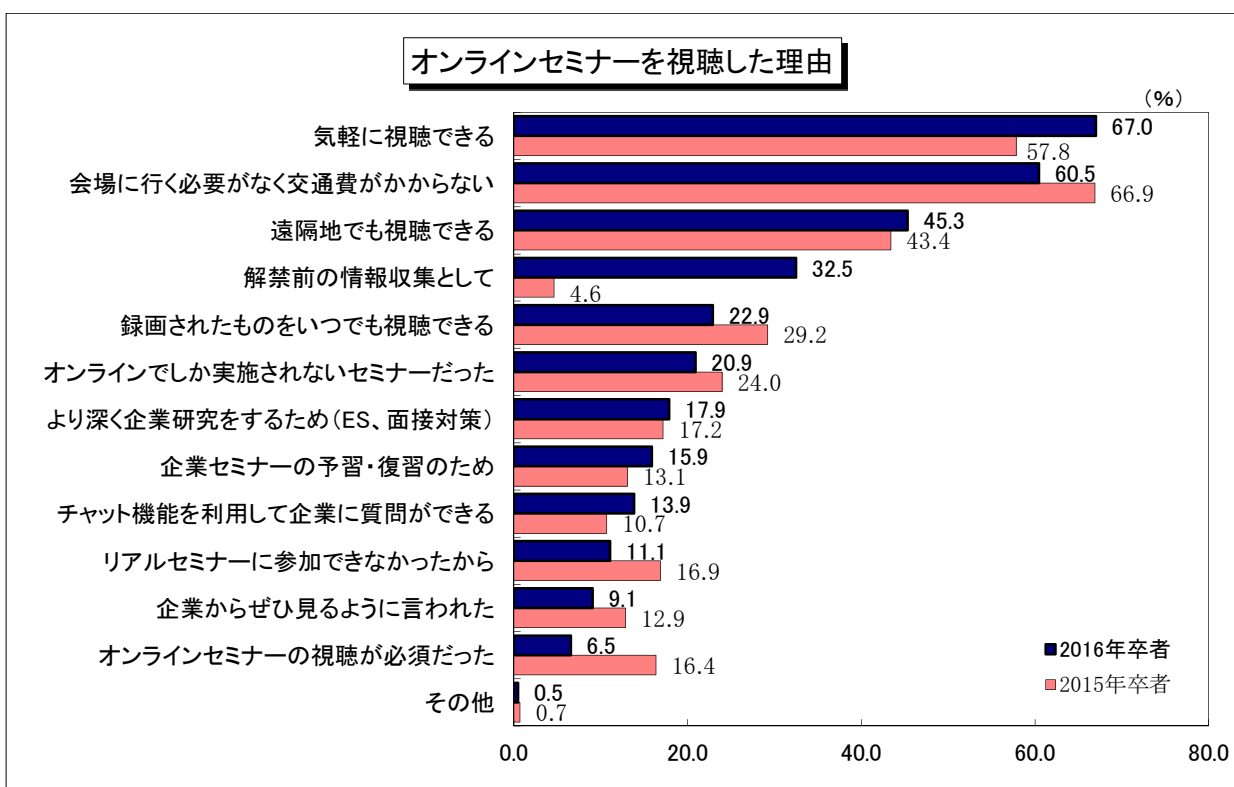
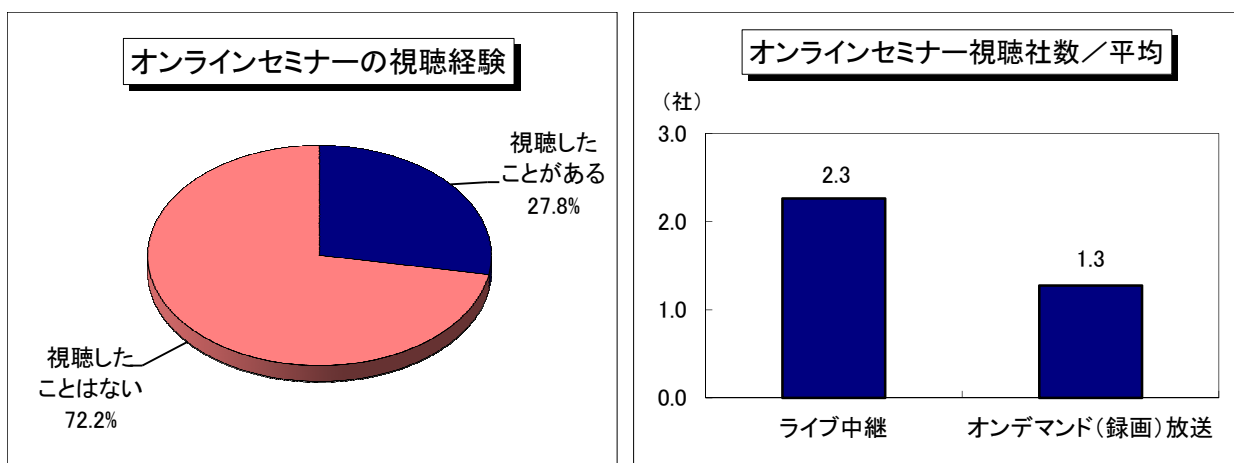
(出典) 中小企業庁ホームページより抜粋(一部例外あり)

7. オンラインセミナーの視聴状況

オンラインセミナー (WEB セミナー) を「視聴したことがある」という学生は 27.8% と 3 割弱。平均視聴社数は、ライブ中継 2.3 社、オンデマンド (録画) 放送 1.3 社と、ライブのほうが多く視聴されている。

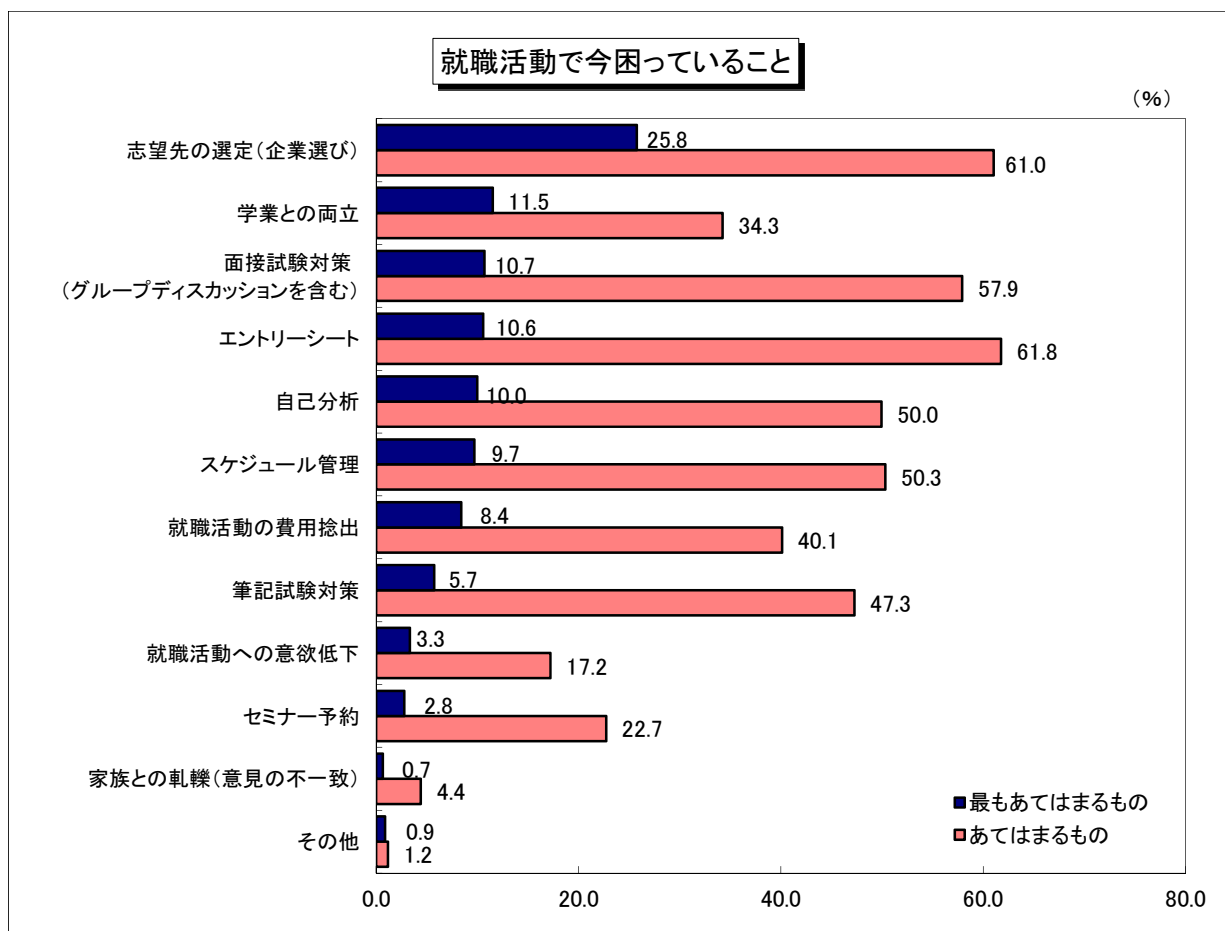
また、オンラインセミナーの視聴理由を尋ね、前年調査の結果と比較した。最も多いのは「気軽に視聴できる」で 67.0%。次いで「会場に行く必要がなく交通費がかからない」60.5%。前年調査と順位は入れ替わったが、今期もこの 2 項目が圧倒的に多い。

一方、前年調査から大きくポイントを伸ばしたのが「解禁前の情報収集として」で、前年の 4.6% から 32.5% へと 7 倍に増えた。解禁時期が延びたことで、できるだけ早い時期に業界研究や仕事研究をしておきたいと考える学生が多かったのではないだろうか。ただ、早期にオンラインセミナーを公開する企業は限られていたため、前年度 (2015 年卒者) 向けのオンデマンド (録画) 放送を見て研究を進めたという学生もいたと推測できる。



8. 就職活動で困っていること

就職活動が解禁となり、多くの学生が一斉に活動を本格化させているこの時期、どんなことに困っているのかを尋ねてみた。複数回答では「エントリーシート」61.8%、「志望先の選定（企業選び）」61.0%、「面接対策」57.9%と続くが、最もあてはまるもの 1 つに絞ると「志望先の選定（企業選び）」が圧倒的に多い。就職活動が始まったばかりで具体的にどのような基準で志望企業を選んだらよいか迷っている学生の姿がうかがえる。



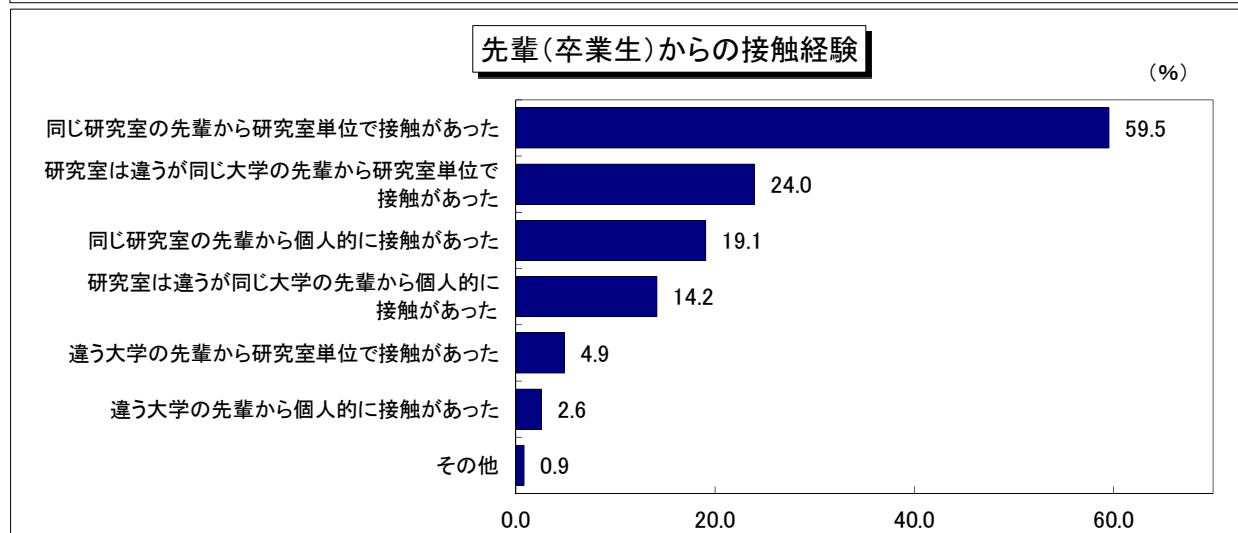
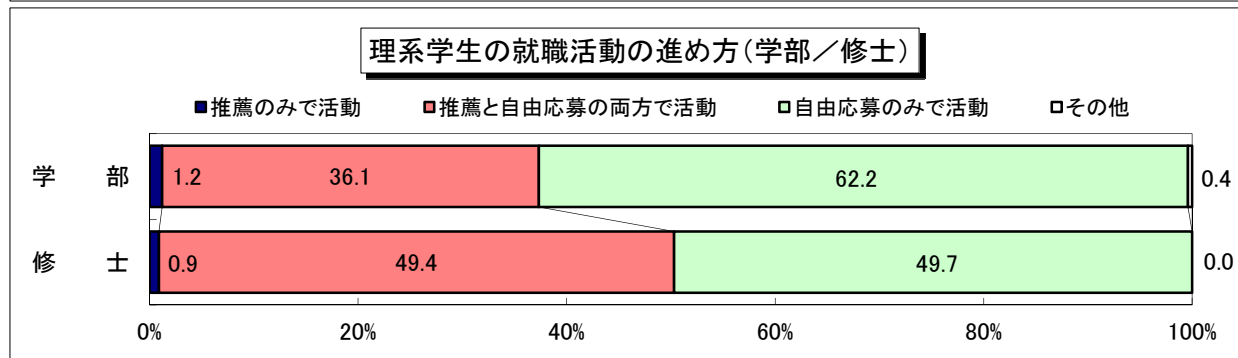
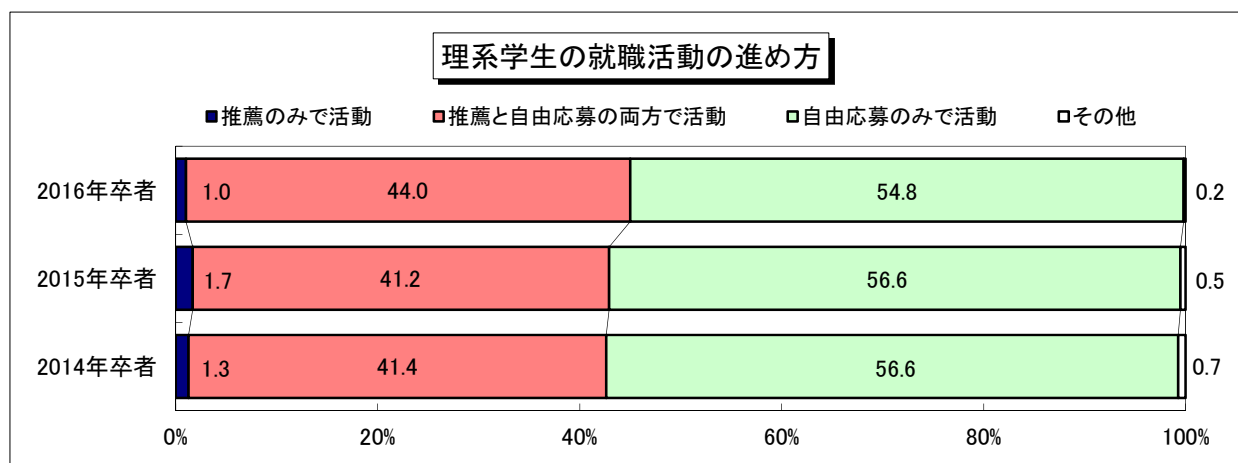
■志望先の選定（企業選び）に困っている理由

- 自分が将来やりたいことの軸と、実際の職務との関連性が見えてこない。 <文系男子>
- いろいろなセミナーに足を運ぶ中で、考えてもいなかった業界に興味が広がり、楽しい反面、しほりこめずにいる。 <文系女子>
- 自分が本当に何をしたいのかがなかなか定まりません。このままだと社風や制度、待遇で選んでしまう恐れがあるため悩んでいます。結局志望動機がはっきりしていないとパフォーマンスが発揮されないと考えています。 <理系男子>
- 業界がどうしても絞れない。この時期は絞らない方がいいという方もいるが、志望動機がしっかりまとまらなさそうだし、どうしたらいいのだろうか。 <文系男子>
- 業界の知識が浅いので、志望業界、志望企業を絞り切れていない状況。これから合説などを利用して視野を広く持ち、どんな業界があるのか見ていきたい。 <文系女子>
- インターンなどで様々な業界を見た分迷ってしまう。 <理系女子>
- 自分の考える条件に合う企業をあまり見つけられていないから。 <理系男子>

9. 理系学生の就職意識

理系学生に対し、就職活動の進め方について「推薦か自由応募か」という観点で尋ねた。今年はい一部メーカーなどで学校推薦を復活させたり強化したりする動きがあるが、今回の調査では「自由応募のみで活動」が 54.8%と引き続き過半数に上った。

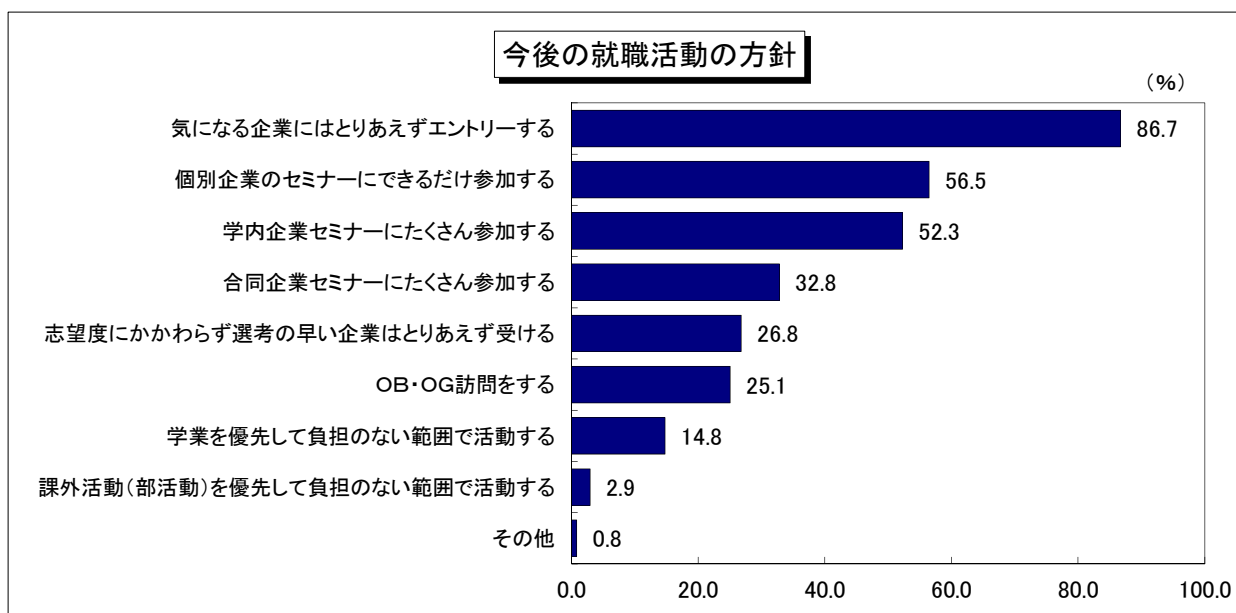
弊社が今年 2 月に実施した企業調査 (有効回答 1,236 社) では、特に理系学生に対する採用意欲の高さが目立ったが、現時点で卒業生から接触を受けた学生は 57.3%。どのようなアプローチを受けたかを尋ねると、「同じ研究室の先輩から研究室単位で接触があった」が 59.5%と約 6 割に上り、これに対し「同じ研究室の先輩から個人的に接触があった」は 19.1%と 2 割弱にとどまる。また、「研究室は違うが同じ大学の先輩から研究室単位で」が 24.0%に対し、「研究室は違うが同じ大学の先輩から個人的に」は 14.2%と、個人よりも研究室単位での接触が主であることが分かった。



10. 今後の就職活動の方針

多くの学生にとって就職活動はまだ始まったばかりだが、今後の就職活動の方針を尋ねた。最も多くが選んだのは「気になる企業にはとりあえずエントリーする」で 86.7%と 8 割を超えている。次いで「個別企業のセミナーにできるだけ参加する」が 56.5%で続く。

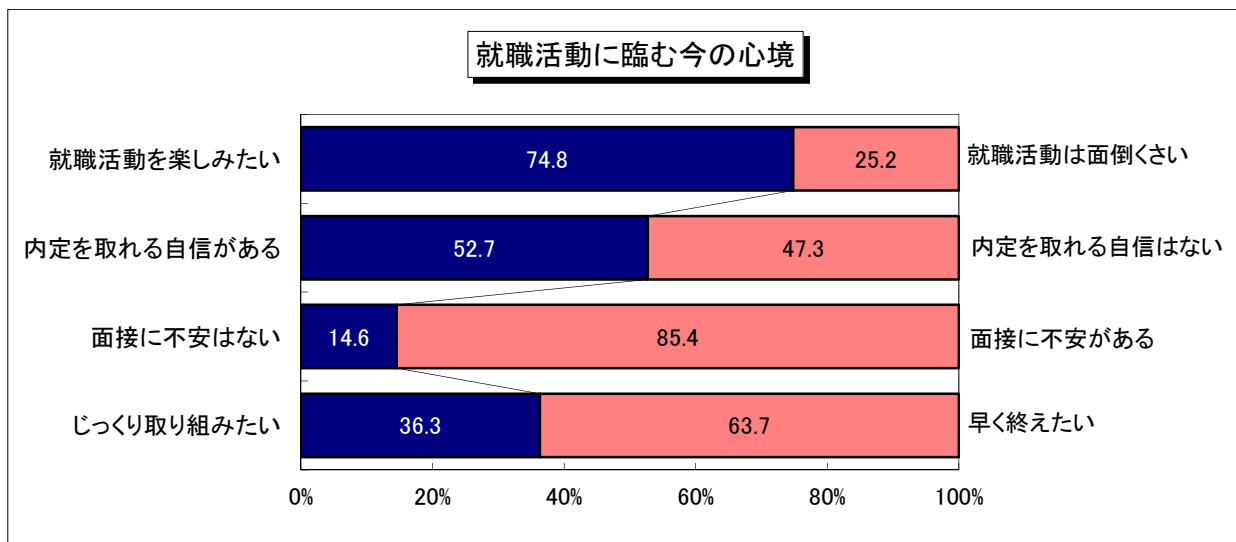
「志望度にかかわらず選考の早い企業はとりあえず受ける」という学生は 26.8%と、現時点では 2 割台にとどまっております、やはり「ある程度志望を絞った上で」が前提となるだろう。



11. 就職活動に臨む心境

就職活動に臨む今の心境を、相反する 2 項目のどちらかを選ぶことで回答してもらった。

就職活動への姿勢は、「楽しみたい」74.8%、「面倒くさい」25.2%と、前向きな学生が多数を占める。内定取得については、「内定を取れる自信がある」52.7%、「自信はない」47.3%と分かれた。「面接に不安がある」と回答した人が 85.4%に上り、「不安はない」は 14.6%と 1 割台にとどまる。時期については、「じっくり取り組みたい」36.3%、「早く終えたい」63.7%と、早い時期の終了を望む学生のほうが多かった。



■就職活動に関して思うこと

- 3月の解禁日を迎え、周りも動き始め、就職活動が始まったという実感が湧いた。 <文系男子>
- 志望業界、企業をどのくらいのタイミングで絞ればいいのかわからない。 <文系女子>
- 企業によりスケジュールが異なるため、広く情報を集めていきたいが、同時に困難でもある。 <文系男子>
- 準備不足のまま3月を迎えてしまったと感じている。 <理系男子>
- 就職活動が解禁になり、色々な会社を知れることは楽しみだが、内定が取れるかどうか不安である。もう内定を持っている人もいろいろいるらしいので、少し焦る。自分のペースで納得のいくように行動していきたい。 <理系女子>
- セミナーの予約合戦が予想以上に熾烈。3月にまたインターンをするには驚いた。 <文系男子>
- 解禁日までは不安が大きかったが、実際に活動を始めると新たな発見や出会いが多く、希望がもてた。 <文系男子>
- いざ3月1日になってみても、あまり実感がわかない。エンジンがかからなくて不安。 <文系女子>
- 夏や秋頃からインターンシップに参加して就職に対して真剣に動き出していた人たちが内定を持ち始めていたり、最近でもワンデーインターンから採用試験に繋がったりと、ある程度のフライングは予想していましたが実際に自分がその機会を得ることなく周りが手にしていることで、すごい焦りを感じています。 <文系女子>
- インターンに参加していたため、3月から始めた人よりも余裕がある。インターンシップに参加してよかったと思っている。 <理系男子>
- 大手の8月の面接まで遠すぎる。 <文系男子>
- 会社が多すぎて、どこにエントリーするかを悩んでいるので、もう少し業界を勉強していかないといけないと思う。 <文系男子>
- 研究との両立が難しいです。遠隔地にいるので、今後選考や見学会が始まると、行って帰ってくるだけで時間を使ってしまうので、落ち着いて研究できないのが辛いです。 <理系男子>
- 結局どのような人が採用されるのか、また既に内定をもらっている人はどのような行動をしていたのかが気になります。自分もいろいろなインターンシップに参加してきたが、内定どころかその後の連絡もないのに、連絡がある学生もいるのか気になります。 <文系男子>
- 3月1日をもって就活が解禁したが、スケジュールリングの面で早くも苦労している。行きたい説明会は多いが、日程がかぶっていたり、移動の面から泣く泣くあきらめざるを得ない企業がでてきて悔しい。都市圏の就活生がうらやましい。 <文系女子>
- 先輩方のスケジュールに関するアドバイスが何も聞けず、人材確保に焦る中小企業と解禁日まで内定を出さない大企業の間での心理戦・情報戦に打ち勝たなければならないプレッシャーが非常に重くて嫌である。将来を決める大事なイベントなんだから、自分に合う企業を探す時間を長くとってほしい。 <理系男子>
- 体力勝負だとは思っていたが、想像以上に説明会時期の3月が忙しそう不安である。1日に多くの企業の説明を受けるので、集中力が試されると思う。 <理系女子>
- 初日からたくさんエントリーしたので、これから頑張ります！ <理系男子>
- 今年は本当に時期がバラバラですね。やりにくいです。 <文系女子>
- 各企業がどんな人物像を求めているのかが一番気になります。 <文系男子>
- 売り手市場になりそうなので、気楽にこちらから攻める気持ちで取り組みたいと思う。短期決戦になるが、集中してがんばりたい。 <文系女子>
- スタートしてからとても流れが早いように感じるので不安を感じています。スケジュール管理をきっちりしておかないとパニックになりそうなので、企業研究やES、面接対策はもちろんですが、何よりもまずスケジュール管理をしっかりしようと思っています。 <理系女子>